

8. 茨城県 (Ibaraki Pref.)

作成者: 佐々木泰弘1)・塩田正寛2)

作成日付: 2002年12月

今回 ランク	判定 方法	前回 ランク	種 名	現在も安定して発生している 産地 (市町村)	現在減少傾向にある産地 (市町村)	絶滅したと考えられる産地 (市町村)	衰退の経過	減少要因	備考(対策・文献など)
EX	ア	E	ウスバシロチョウ	—	—	水海道市, 伊奈町	水海道市・伊奈町からは1980年代以降記録が無く、絶滅したと考えられる。しかし、2002年に県北山地の県境付近から記録され、県内への分布拡大も考えられる	河川改修による林の伐採など	—
EX	ウ	E	ヒョウモンモドキ	—	—	友部町	1940年前後の記録しかなく、絶滅したと考えられる	環境変化?	—
EX	ア	E	オオウラギンヒョウモン	—	—	北茨城市, 高萩市, 金砂郷町, 日立市, 常陸太田市, 水戸市, 御前山村, 真壁町, 水海道市, つくば市, 竜ヶ崎, 江戸崎町	過去には県内に広く分布していたと思われるが、1970年以降の記録はなく絶滅したと考えられる	草地の放置や農薬等の影響?	—
EN	タ, テ	R	ヒメシロチョウ	—	大子町, 那珂町	東海村, 水戸市, ひたちなか市	1950年代に大子町・那珂町以外では絶滅し、現在の産地でも環境変化により減少が著しい	発生地での環境変化	生息地の環境維持
EN	ソ, テ, ニ	V	クロシジミ	—	北茨城市, 里美村, 日立市	常陸太田市, 水戸市, 真壁町, 八郷町	安定していた日立市の産地も個体数が激減し、他の産地でも絶滅に近い状態である。採集圧もある	発生地の環境変化・採集圧	生息地の環境維持・採集規制
VU	タ	—	ツマグロキチョウ	—	県内全域	—	1980年代以降個体数の減少が著しい	生息地環境の変化?	生息地の環境維持
VU	タ, ト	R	スジボソヤマキチョウ	—	大子町, 里美村, 北茨城市, 高萩市, 水府村	—	1990年代以降個体数の減少が著しい	植林等による生息地林の減少	生息地の環境維持
VU	タ, テ, ス	V	ハヤシミドリシジミ	—	大子町, 里美村	—	産地はごく狭い範囲であり、里美村の産地では個体数の減少が著しい	カシワ林の伐採など	生息地の環境維持
VU	テ	E	ミヤマカラスシジミ	—	大子町, 里美村, 北茨城市	ひたちなか市	ひたちなか市の産地は1970年代に絶滅したと考えられ、他の地域でも減少傾向にある	公園化や植林などによる生息地の減少	生息地の環境維持
NT	チ, ト	R	オオムラサキ	—	県南県西の低地部	—	県南, 県西での雑木林の消失	生息林やエノキの伐採	生息地の環境維持
NT	ト, ス	V	チャマダラセセリ	北茨城市, 高萩市	大子町, 里美村	常陸太田市, 難台山(岩間町)	県南地域では絶滅したと考えられ、県北でも採集圧による影響がある。伐採地周辺など環境変化の大きなところが生息地となっていることも影響している	発生地の草地の環境変化・採集圧	生息地の環境維持・採集規制
NT	チ, ト	R	ムモンアカシジミ	—	大子町, 里美村, 北茨城市, 高萩市	—	かつて多数の個体が見られた地域での減少が著しい	植林や林道の拡幅による生息地の減少	生息地の環境維持
DD	ネ	R	ギンボンヒョウモン	—	大子町, 北茨城市	友部町(迷チョウ?)	ごく限られた地域での数例の記録しかない	草原環境の減少	—
DD	ネ	—	カラスシジミ	—	北茨城市	—	ごく限られた地域での数例の記録しかない。食樹の数も少ない	食樹の伐採	—
DD	ネ	R	シルビアシジミ	—	下館市	ひたちなか市	各地とも1例のみ。ひたちなか市の環境変化は激しい	河川改修や宅地開発	—
DD	ネ	V	ミヤマシジミ	—	北茨城市, 里美村	—	確実な採集記録は数例のみ。生息地の環境は悪化しているところが多い	発生地の草地の環境変化	—
DD	ネ	V	ヘリグロチャバネセセリ	—	里美村	—	確実な採集記録は数例のみ。生息地の環境悪化	発生地の環境変化	—
DD	ネ	R	キバネセセリ	—	北茨城市	—	確実な採集記録は数例のみ。生息地の環境悪化	発生地の環境変化	生息地の環境維持

1) 〒311-0015 茨城県常陸太田市木崎一町2057 2) 〒316-0023 日立市東大沼町3-15-24

参考文献 水戸昆虫研究会(1993)茨城県の昆虫 チョウ目チョウ類p299-355 水戸市立博物館
茨城県(2000) 茨城における絶滅のおそれのある野生生物 動物編

第2集のリストからはずれた種

県南県西地域などの一部で減少しているが県全体で見れば安定している地域が多いため除外した種
コムラサキ メスグロヒョウモン ウラギンヒョウモン オオウラギンスジヒョウモン ウラギンスジヒョウモン ミスジチョウ ゴマダラチョウ
ミドリシジミ クロミドリシジミ ジャノメチョウ

県北山地に産地に限られるが発生状況は安定しているため除外した種
ヒメキマダラヒカゲ オオヒカゲ オナガシジミ ウラクロシジミ アイノミドリシジミ フジミドリシジミ エゾミドリシジミ ジョウザンミドリシジミ
ヒメシジミ スギタニルリシジミ ホシチャバネセセリ スジグロチャバネセセリ コキマダラセセリ

偶産・迷チョウとも考えられるため除外した種
フタスジチョウ エルタテハ キベリタテハ